学校番号	304

令和８年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「書Ⅰ」　（光村図書）						
副教材等	硬筆レッスン帳（教育図書）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

① 小学校、中学校の書写の授業で学んだことを発展させて、芸術科書道では書体や字形・文字の大小・濃淡や用具用材などを変えることによって表現の違いが出ることを学びましょう。
② 漢字の書、漢字仮名交じりの書、仮名の書等を体験することで、書体に応じた筆の使い方を理解し、自分の意図に応じた表現が出来るようになることをめざしましょう。
③ 自分や他の人の作品の鑑賞を通して、表現することの意味を考え、幅広い感性と鑑賞力を身につけ、生涯にわたり書を身近な存在として感じられるようになりましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】
書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】
主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・ 書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 ・ 書写能力を向上させるとともに、伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。	・ 書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫することができる。 ・ 作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	・ 主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	漢字の書	● 5書体の古典臨書 ・ 用具･用材の特徴と表現効果の関わりを学び、古典の書風に即した用筆･運筆、線質、字形を理解する。 ・ 古典の線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりから、中国や日本等の文字と書の伝統と文化について理解する。 ・ 5書体の古典の書風に即した用筆･運筆、字形、全体の構成を工夫しながら表現する。 ● 篆刻の学習 ・ 篆刻の用具･用材、基本的な表現の過程について理解する。 ・ 篆刻の古典の書風と用刀･運刀との関わり、中国の書の伝統と文化について理解し、そのよさや美しさを味わう。	a:古典の特徴と表現効果の関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。（知） a:線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。（知） a:書の伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するために、字形や構成を生かした表現の技能を身につけている。(技) b:古典のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し、古典の特徴や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について工夫している。 b:創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わってとらえている。 c:漢字の書の伝統と文化に豊かに関わり、主体的に表現の創造的活動に取り組もうとしている。 c:書のよさや美しさを感受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	作品 ワークシート	作品 観察 ワークシート	作品 観察 ワークシート 作品ファイル

2学期	漢字仮名交じりの書	● 漢字仮名交じりの書の創作 ・ 用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・ 意図に基づき、漢字（楷書・行書）と仮名（平仮名・片仮名）の調和した運筆、字形、全体の構成を工夫しながら、表現する。	a: 用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現を用筆・運筆との関わりについて理解している。（知） a:線質、字形、構成等の要素と表現効果との関わりについて理解している。（知） a: 目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身につけている。（技） b: 漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫している。 b:創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わってとらえている。 c: 自身の表現の意図に基づき、漢字仮名交じりの書の特質に基づく表現を主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにしている。 c:書のよさや美しさを感受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	作品 ワークシート	作品 観察 ワークシート	作品 観察 ワークシート 作品ファイル
3学期	仮名の書	● 古筆臨書 ・ 臨書を通じて、古筆（平仮名・片仮名・変体仮名）の書風に即した運筆・用筆、線質、字形を理解する。 ・ 古筆の書体や書風に即した運筆・用筆、字形、全体の構成を工夫しながら表現する。	a:古筆の特徴と表現効果の関わり、書体と用筆・運筆との関わりについて理解している。（知） a:線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。（知） a:書の伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するために、必要な技術を身につけている。（技） b:古筆のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し、古典の特徴や書風に即した用筆、運筆、字形、墨継ぎ、全体の構成などを工夫している。 b:創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わってとらえている。 c:仮名の書の伝統と文化に豊かに関わり、主体的に表現の創造的活動に取り組もうとしている。 c:書のよさや美しさを感受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	作品 ワークシート	作品 観察 ワークシート	作品 観察 ワークシート 作品ファイル

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度